



溶連菌 感染症

現在、こども園にて、**溶連菌感染症**のお子さんが出ておりますので、お知らせいたします。気になる症状が見られましたら、受診をお願いします。

* **登園届(保護者記入)が必要**… 入園のしおり P.11

溶連菌感染症とは

症状

溶連菌という細菌がのどに感染し、のどの痛み、38～39℃の高熱、嘔吐、腹痛、頭痛を起こすことがある。
体や手足に発疹などが出はじめ、舌はイチゴのようにブツブツになる。

潜伏期間

2～5日

感染経路

飛沫感染、経口感染

感染期間

抗菌薬内服後24時間が経過するまで

※溶連菌感染症は、家族にもうつります。
(家庭内でうつる確率は約20%です。)

登園基準

抗菌薬内服後24～48時間経過していること。
症状がなくなったからといって、薬をやめると再発したり、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などを起こすこともあるので、医師の指示を受けること。



もし かかってしまったら…？



- のどが痛い場合は熱いものや辛いもの、酸っぱいものは避けましょう。
- 発疹が水をもっていないくて、熱や咳がなければ、お風呂に入っても良いでしょう。
- かゆみを伴う場合もあるので、爪を短く切っておきましょう。
- 室内の温度は汗をかかない程度にしましょう。
- 途中で内服をやめると、再発します。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎を起こすことがあります。症状が治まっても決められた期間、抗菌薬を飲み続けるようにしてください。